

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『宇治拾遺物語』	配当時間	1
学習のねらい	文法事項を踏まえながら、小野篁と嵯峨天皇の心情を適切に理解し、説話の世界を読み味わう。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	語句や表現に即して、説話の展開を読み取ろうとする。	語句や表現に即して、説話の展開を読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章を通して、登場人物の行動の意味を読み取る。	文章を通して、登場人物の行動の意味を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	基本的な助動詞の用法について理解する。	基本的な助動詞の用法について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『十訓抄』	配当時間	1
学習のねらい	文法事項を踏まえながら、登場人物のそれぞれの心情を適切に理解し、説話の世界を読み味わう。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	語句や表現に即して、説話の展開を読み取ろうとする。	語句や表現に即して、説話の展開を読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章を通して、登場人物の行動の意味を読み取る。	文章を通して、登場人物の行動の意味を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	人物関係を踏まえ、敬語法の基本について理解する。	人物関係を踏まえ、敬語法の基本について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『今物語』	配当時間	1
学習のねらい	和歌にまつわる逸話を理解するとともに、登場人物の心情を読み取り、説話の世界を読み味わう。		
言語活動例	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。		
学習指導要領の指導事項	イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	登場人物の心情を理解して、説話の世界を読み味わおうとする。	登場人物の心情を理解して、説話の世界を読み味わおうとしている。	行動の観察
読む能力	和歌を鑑賞するとともに、登場人物たちの言動を支える心情を読み取る。	和歌を鑑賞するとともに、登場人物たちの言動を支える心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	清少納言『枕草子』	配当時間	2
学習のねらい	筆者の美意識やものの見方を読み取るとともに、当時の宮廷生活について理解する。		
言語活動例	ア 辞書などを用いて古典の言葉と現代の言葉とを比較し、その変遷などについて分かったことを報告すること。		
学習指導要領の指導事項	ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとする。	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	筆者の美意識や機知を読み取る。	筆者の美意識や機知を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『竹取物語』	配当時間	1
学習のねらい	物語の展開を語句や表現に即して理解するとともに、当時の人々が物語にこめた思いを考える。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	語句や表現に即して物語の展開を読み取ろうとする。	語句や表現に即して物語の展開を読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章を通して、登場人物の行動と心情を読み取る。	文章を通して、登場人物の行動と心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	基本的な敬語法について理解する。	基本的な敬語法について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『伊勢物語』	配当時間	2
学習のねらい	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、和歌の読解と鑑賞を通して歌物語の特徴を理解する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとする。	物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取る。	文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。 歌物語の特徴を理解する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。 歌物語の特徴を理解できている。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『大和物語』	配当時間	1
学習のねらい	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、和歌の読解と鑑賞を通して歌物語の特徴を理解する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとする。	物語の展開を理解し、和歌にこめられた登場人物の心情を読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取る。	文章や和歌を通して、登場人物の行動と心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。 歌物語の特徴を理解する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。 歌物語の特徴を理解できている。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	兼好法師『徒然草』	配当時間	2
学習のねらい	筆者の人生観や人間観などを読み取り、その特色を理解するとともに、自分自身の考え方を深め、視野を広げる。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとしている。	行動の観察
読む能力	筆者の人生観や人間観を読み取る。	筆者の人生観や人間観を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	鴨長明『方丈記』	配当時間	2
学習のねらい	筆者の無常観や人生観を読み取るとともに、当時の社会状況について理解する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の社会状況を理解しようとする。	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の社会状況を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	筆者の無常観や人生観を読み取る。	筆者の無常観や人生観を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『古今著聞集』	配当時間	1
学習のねらい	登場人物の心情を状況や行動、和歌の読解を通して理解するとともに、説話の世界を読み味わう。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	話の展開を理解し、説話の世界を読み味わおうとする。	話の展開を理解し、説話の世界を読み味わおうとしている。	行動の観察
読む能力	話の状況や人物の言動、和歌の読解を通して、登場人物の心情を読み取る。	話の状況や人物の言動、和歌の読解を通して、登場人物の心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	当時の人々の和歌に対する思いを理解する。	当時の人々の和歌に対する思いを理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	鴨長明『癸心集』	配当時間	1
学習のねらい	登場人物の心情を状況や言動を通して理解するとともに、仏教説話の世界を読み味わう。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	話の展開を理解し、説話の世界を読み味わおうとする。	話の展開を理解し、説話の世界を読み味わおうとしている。	行動の観察
読む能力	登場人物の心情を、状況や言動を通して理解する。	登場人物の心情を、状況や言動を通して理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	仏教説話の特徴を理解する。	仏教説話の特徴を理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『古本説話集』	配当時間	1
学習のねらい	話の展開に伴う登場人物の心情の変化を読み取るとともに、霊験譚としての構成や寺名の由来譚としての内容を理解する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	長めの説話を構成する話の要素や、その構造を理解しようとする。	長めの説話を構成する話の要素や、その構造を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	話の展開に伴う登場人物の心情の変化を読み取る。	話の展開に伴う登場人物の心情の変化を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	仏教説話の特徴を理解する。	仏教説話の特徴を理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	紫式部『源氏物語』	配当時間	3
学習のねらい	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』についてより深く知ろうとする。	物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』についてより深く知ろうとしている。	行動の観察
読む能力	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取る。	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	基本的な敬語法について理解する。	基本的な敬語法について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『大鏡』	配当時間	3
学習のねらい	歴史の流れの中で、登場人物の境遇や心情を読み取るとともに、歴史物語の特徴と文学史的意義を理解する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 オ 古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとする。	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	登場人物の人間関係や心情を読み取る。	登場人物の人間関係や心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	基本的な敬語法について理解する。	基本的な敬語法について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	菅原孝標女『更級日記』	配当時間	2
学習のねらい	作者の生活や心情を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	作者の生活や考え方を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとする。	作者の生活や考え方を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	作者の立場を理解し、その心情を読み取る。	作者の立場を理解し、その心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	建礼門院右京大夫『建礼門院右京大夫集』	配当時間	2
学習のねらい	作者が置かれた状況を理解し、和歌にこめられた作者の心情を読み取る。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	歴史的背景をとらえ、作者が置かれた状況とその心情を理解しようとする。	歴史的背景をとらえ、作者が置かれた状況とその心情を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	和歌を通して作者の心情を読み取る。	和歌を通して作者の心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	基本的な助詞について理解する。	基本的な助詞について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『平家物語』	配当時間	2
学習のねらい	音読を通して語り物の特徴を知るとともに、生死に直面した人間の行動を通して、生き方についての考えを深める。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	音読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとする。	音読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとしている。	行動の観察
読む能力	登場人物の置かれた状況やその心情を読み取る。	登場人物の置かれた状況やその心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	基本的な敬語法について理解する。	基本的な敬語法について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	「和歌十六首」	配当時間	2
学習のねらい	和歌の基本を学び、その表現の特徴や時代による変遷を理解する。		
言語活動例	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。		
学習指導要領の指導事項	ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 オ 古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	和歌の響きを味わい、こめられた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解しようとする。	和歌の響きを味わい、こめられた思いを読み取るとともに、時代による違いを理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	それぞれの和歌に詠みこまれた心情を読み取る。	それぞれの和歌に詠みこまれた心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	和歌の修辞法や和歌史の流れを理解する。	和歌の修辞法や和歌史の流れを理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	「水無瀬三吟百韻」	配当時間	1
学習のねらい	独特の文芸である連歌の歴史や構成を理解して、その世界を鑑賞する。		
言語活動例	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。		
学習指導要領の指導事項	エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	独特の文芸である連歌に関心を持ち、その歴史や構成を理解しようとする。	独特の文芸である連歌に関心を持ち、その歴史や構成を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	複数の作者により作られる作品世界を読み取る。	複数の作者により作られる作品世界を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	連歌の特徴を理解する。	連歌の特徴を理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	「近世俳諧」	配当時間	1
学習のねらい	俳句の基本を学び、その表現の特徴や季節感などを理解する。		
言語活動例	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、様々な資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。		
学習指導要領の指導事項	エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲 ・態度	俳句のリズムや季節感を読み味わおうとする。	俳句のリズムや季節感を読み味わおうとしている。	行動の観察
読む能力	それぞれの俳句に詠みこまれた風景や心情を読み取る。	それぞれの俳句に詠みこまれた風景や心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	俳句の特色や基本事項について理解する。	俳句の特色や基本事項について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	松尾芭蕉『笈の小文』	配当時間	1
学習のねらい	芭蕉の俳諧に対する姿勢を読み取るとともに、俳文の特徴を理解する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	句と文章が一体となった独特の表現を読み味わおうとする。	句と文章が一体となった独特の表現を読み味わおうとしている。	行動の観察
読む能力	芭蕉にとって「狂句」や「風雅」とはどのようなものだったのかを理解する。	芭蕉にとって「狂句」や「風雅」とはどのようなものだったのかを理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	俳文の特徴を理解する。	俳文の特徴を理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	井原西鶴『西鶴諸国ばなし』	配当時間	2
学習のねらい	近世小説を読み、話の展開を理解するとともに、登場人物の生き方について考える。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	話の展開のおもしろさを味わい、登場人物の生き方や作者の立場について考えようとする。	話の展開のおもしろさを味わい、登場人物の生き方や作者の立場について考えようとしている。	行動の観察
読む能力	話の展開や登場人物の考え方を読み取る。	話の展開や登場人物の考え方を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	近世前期の文学史について理解する。	近世前期の文学史について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	清少納言『枕草子』	配当時間	4
学習のねらい	筆者の美意識やものの見方を読み取るとともに、当時の宮廷生活について理解する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとする。	内容を踏まえて筆者の考え方や当時の宮廷生活を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	筆者の美意識や機知を読み取る。	筆者の美意識や機知を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	紫式部『源氏物語』	配当時間	5
学習のねらい	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、『源氏物語』への理解を深め、興味関心を高める。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』をより深く知ろうとする。	物語の内容を理解するとともに、『源氏物語』をより深く知ろうとしている。	行動の観察
読む能力	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取る。	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	基本的な敬語法について理解する。	基本的な敬語法について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『堤中納言物語』	配当時間	1
学習のねらい	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、短編物語の展開を読み味わう。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	物語の展開を理解し、登場人物の心情を読み取ろうとする。	物語の展開を理解し、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	主人公の行動と心情を読み取るとともに、他の登場人物の言動の意図を理解する。	主人公の行動と心情を読み取るとともに、他の登場人物の言動の意図を理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『住吉物語』	配当時間	1
学習のねらい	和歌などを通して登場人物の心情を読み取るとともに、「夢」を利用した物語の展開を読み味わう。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	物語の展開を理解し、登場人物の心情を読み取ろうとする。	物語の展開を理解し、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取る。	登場人物の心情を、それぞれの場面に応じて読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	掛詞をはじめとする和歌の修辞を理解する。	掛詞をはじめとする和歌の修辞を理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『しのびね』	配当時間	1
学習のねらい	登場人物の心情を状況や行動に即して読み取るとともに、擬古物語を読み味わう。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	物語の展開を理解し、登場人物の心情を読み取ろうとする。	物語の展開を理解し、登場人物の心情を読み取ろうとしている。	行動の観察
読む能力	登場人物の行動を、置かれた状況や心情と関連づけて読み取る。	登場人物の行動を、置かれた状況や心情と関連づけて読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	藤原道綱母『蜻蛉日記』	配当時間	2
学習のねらい	作者の生活や心情を読み取るとともに、当時の社会制度や平安女流日記文学の特徴を理解する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	作者の生活や心情を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとする。	作者の生活や心情を読み取るとともに、平安女流日記文学の特徴を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	作者の立場を理解し、その心情を読み取る。	作者の立場を理解し、その心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	和泉式部『和泉式部日記』	配当時間	1
学習のねらい	贈答歌を通して男女の心情を読み取るとともに、表現上の特徴を理解する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	贈答歌を通して男女の心情を読み取るとともに、表現上の特徴を理解しようとする。	贈答歌を通して男女の心情を読み取るとともに、表現上の特徴を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	比喩表現に気をつけながら、作者の心情を理解する。	比喩表現に気をつけながら、作者の心情を理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	贈答歌の特徴を理解する。 形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	贈答歌の特徴を理解している。 形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	紫式部『紫式部日記』	配当時間	2
学習のねらい	作者のものの感じ方や洞察力を読み取るとともに、その心情を理解する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	風景や人物に対する作者の感じ方や洞察力を理解しようとする。	風景や人物に対する作者の感じ方や洞察力を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	作者のものの感じ方を通して、その心情を理解する。	作者のものの感じ方を通して、その心情を理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『大鏡』	配当時間	5
学習のねらい	歴史の流れの中で、登場人物の境遇や心情を読み取るとともに、歴史物語の特徴と文学史的意義を理解する。		
言語活動例	エ 古典を読んで関心をもった事柄などについて課題を設定し、さまざまな資料を調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりすること。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 オ 古典を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解を深めること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとする。	登場人物の境遇を読み取るとともに、歴史物語の特徴を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	登場人物の人間関係や心情を読み取る。	登場人物の人間関係や心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。 基本的な敬語法について理解する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。 基本的な敬語法について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『栄花物語』	配当時間	2
学習のねらい	歴史の流れの中で、登場人物の境遇や心情を読み取るとともに、『大鏡』や『枕草子』などの関連作品と読み比べ、古典の世界を広げる。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	物語の内容を読み取るとともに、他作品との関連を理解しようとする。	物語の内容を読み取るとともに、他作品との関連を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	登場人物の境遇とそれに伴う心情を読み取る。	登場人物の境遇とそれに伴う心情を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別する。 文学史の中で、関連作品相互の関係性を理解する。	形のうえで紛らわしい語を文法的に識別できている。 文学史の中で、関連作品相互の関係性を理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	紀貫之「古今和歌集仮名序」	配当時間	1
学習のねらい	歌論を読み、筆者の和歌に対する感じ方や考え方を理解する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	和歌に対する筆者の感じ方や考え方を理解しようとする。	和歌に対する筆者の感じ方や考え方を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読み取る。	筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	和歌や歌論の文学史的事項を理解する。	和歌や歌論の文学史的事項を理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	源俊頼『俊頼髓脳』	配当時間	1
学習のねらい	歌論に示された和歌の評価を理解するとともに、和歌を鑑賞する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	歌論において和歌をどのような点から評価しているか、理解しようとする。	歌論において和歌をどのような点から評価しているか、理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	それぞれの和歌に対する評価の内容を理解するとともに、和歌を鑑賞する。	それぞれの和歌に対する評価の内容を理解するとともに、和歌を鑑賞している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	主な歌論を整理するとともに、和歌の修辞法を広く理解する。	主な歌論を整理するとともに、和歌の修辞法を広く理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『無名草子』	配当時間	1
学習のねらい	清少納言と紫式部がどのように評価されているか、的確に読み取る。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	清少納言と紫式部を評価する際の視点がどのようなところにあるか、理解しようとする。	清少納言と紫式部を評価する際の視点がどのようなところにあるか、理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	話者の評価内容を的確に読み取り、整理する。	話者の評価内容を的確に読み取り、整理している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	清少納言と紫式部の人物像や、『源氏物語』の成立事情について理解する。	清少納言と紫式部の人物像や、『源氏物語』の成立事情について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	鴨長明『無名抄』	配当時間	1
学習のねらい	俊成や俊恵の「おもて歌」についての考え方を読み取るとともに、それぞれの和歌を鑑賞する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲 ・態度	「おもて歌」についての考え方を理解しようとする。	「おもて歌」についての考え方を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	それぞれの和歌を鑑賞し、俊恵の主張を読み取る。	それぞれの和歌を鑑賞し、俊恵の主張を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	謙譲語「給ふ」の用法について理解する。	謙譲語「給ふ」の用法について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』(古B 333)評価規準例案 資料

教材名	藤原定家『毎月抄』	配当時間	1
学習のねらい	歌論を読み、和歌の「心」と「詞」についての筆者の主張を理解する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	和歌の「心」と「詞」についての筆者の主張を理解しようとする。	和歌の「心」と「詞」についての筆者の主張を理解しようとしている。	行動の観察
読む能力	「古の歌」と「近代の歌」についての筆者の考えを読み取る。	「古の歌」と「近代の歌」についての筆者の考えを読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	歌論に頻出する用語の意味を理解する。	歌論に頻出する用語の意味を理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	正徹『正徹物語』	配当時間	1
学習のねらい	歌論に述べられている和歌の評価を理解することで、和歌の鑑賞法を学ぶ。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者の評を参考にしながら、和歌を鑑賞しようとする。	筆者の評を参考にしながら、和歌を鑑賞しようとしている。	行動の観察
読む能力	語順や助詞の違いなどによって、詩歌の世界がどのように変化するか、理解する。	語順や助詞の違いなどによって、詩歌の世界がどのように変化するか、理解している。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	中世歌論の文学史的事項を理解する。	中世歌論の文学史的事項を理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』(古B 333)評価規準例案 資料

教材名	世阿弥『風姿花伝』	配当時間	1
学習のねらい	能楽論に示された筆者の主張を読み取り、その特色を理解するとともに、芸道に対する考え方を深め、視野を広げる。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとしている。	行動の観察
読む能力	「花」の意味するところを理解し、筆者の芸道観を読み取る。	「花」の意味するところを理解し、筆者の芸道観を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	古典芸能の流れ、能楽について理解する。	古典芸能の流れ、能楽について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』(古B 333)評価規準例案 資料

教材名	向井去来『去来抄』	配当時間	1
学習のねらい	俳論を読み、筆者の主張を読み取るとともに、焦門俳諧の特色を理解する。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者の主張を通して、焦門俳諧の特色を味わおうとする。	筆者の主張を通して、焦門俳諧の特色を味わおうとしている。	行動の観察
読む能力	句に対する筆者の批評を読み取る。	句に対する筆者の批評を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	俳諧の流れ、焦門について理解する。	俳諧の流れ、焦門について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	『難波土産』	配当時間	1
学習のねらい	近松門左衛門が考える舞台芸能のあり方について理解するとともに、演劇に対する考え方を深め、視野を広げる。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。	内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとしている。	行動の観察
読む能力	「実」と「虚」の関係を理解し、近松の主張を読み取る。	「実」と「虚」の関係を理解し、近松の主張を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	古典芸能の流れ、浄瑠璃や歌舞伎について理解する。	古典芸能の流れ、浄瑠璃や歌舞伎について理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』（古B 333）評価規準例案 資料

教材名	本居宣長『玉勝間』	配当時間	1
学習のねらい	筆者の学問についての主張を理解するとともに、自身の学びについての考え方を深める。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者の主張を通して、自身の学びについて考えを深めようとする。	筆者の主張を通して、自身の学びについて考えを深めようとしている。	行動の観察
読む能力	叙述内容を整理して、筆者の学問についての考えを読み取る。	叙述内容を整理して、筆者の学問についての考えを読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	国学の流れについて理解する。	国学の流れについて理解している。	記述の点検

三省堂『高等学校古典B 古文編 改訂版』(古B 333)評価規準例案 資料

教材名	本居宣長『源氏物語玉の小櫛』	配当時間	1
学習のねらい	物語論を読み、筆者の論旨を理解するとともに、物語を読む意義などについて考える。		
言語活動例	ウ 古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。		
学習指導要領の指導事項	ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	筆者の主張を通して、物語を読む意義などについて考えようとする。	筆者の主張を通して、物語を読む意義などについて考えようとしている。	行動の観察
読む能力	叙述内容を整理して、筆者の述べる「物語」を読む意義を読み取る。	叙述内容を整理して、筆者の述べる「物語」を読む意義を読み取っている。	行動の分析 記述の確認
知識・理解	「もののあはれ」について考えを深めるとともに、国学の流れを理解する。	「もののあはれ」について考えを深めるとともに、国学の流れを理解している。	記述の点検